

兵庫県 のり漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2023年11月30日発行
 兵庫のり研究所

海域全般に、依然として大型珪藻のコシノディスカスが確認されています。窒素は、林崎漁場で概ね2 $\mu\text{g at/L}$ 台、魚住漁場～二見漁場東部では、地先で2 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖筋で1 $\mu\text{g at/L}$ 台、二見漁場西部～別府漁場では陸水等の影響が見られ、地先で5 $\mu\text{g at/L}$ 以上、沖筋で2 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均17.5℃ (平年比0.4℃、昨年比1.9℃ともに低い)。
 (栄養塩、珪藻) 海域全般に、コシノディスカスが確認されており、発生量は横ばいである。コシノディスカス発生量 (海水1Lあたり) は、海域全般に650～850細胞 (前回値: 500～900細胞) であった。
 別府漁場では、陸水等の影響により、アンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	17.8	17.5	17.9	19.4
窒素	2.6	2.4	6.3	5.3
リン	0.63	0.60	0.61	0.57

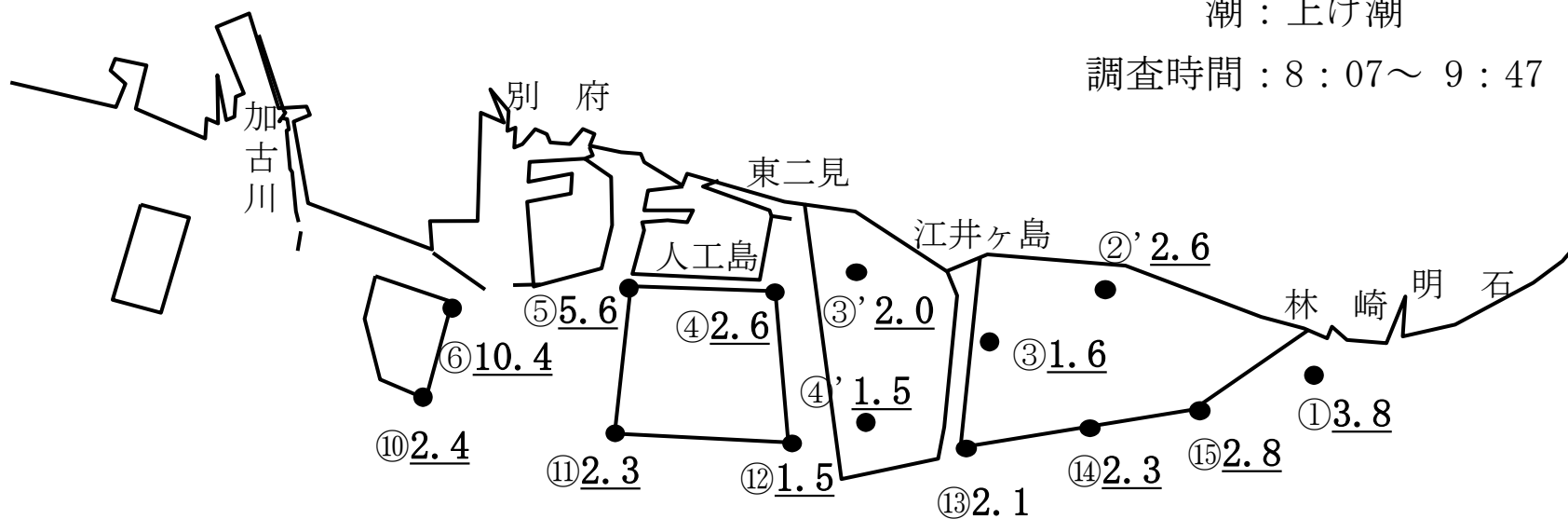
(11/27) ※窒素の平均は別府を除く
 ※窒素の平均は別府を除く (11/25)

2023年11月29日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：8:07～9:47



水温図

